

NRPAのレクリエーション運動ビジョンに関する研究 ～"Vision 2000 A Strategic Plan for NRPA's Future"を中心に～

三宅 基子（財団法人日本レクリエーション協会）

1. はじめに

戦後始まった我が国のレクリエーション運動は、「戦後復興期」「高度成長期」「オイルショック以降」「1980年代以降」のそれぞれの時期に、遊びを通じて人々のいきいきとした生活の実現をめざしてきた。1)

財団法人日本レクリエーション協会は、1948年設立され、現在では、加盟種目団体37、都道府県レクリエーション協会48、領域団体11を統轄する団体として、わが国におけるレクリエーション運動の一躍を担う非営利組織である。

21世紀を迎え、これまでの社会構造が大きく変革していく中、1998年3月、「特定非営利活動促進法（通称NPO法）」の成立を受け、市民が中心となった非営利組織の活動が活発になってきている。都道府県、市区町村レクリエーション協会においても、NPOの認可を受け、活動している団体が4団体誕生している。

島田は、「非営利組織の存在の根源はミッションであり、ミッションには、自らが実践する事業領域とそれに向かう信念、価値観が含まれなければならない」と述べている。2)

1990年代後半、日本レクリエーション協会は、レクリエーション運動の①ビジョン、②目的、③計画を続けて発表した。

- ① 1995年11月、生涯スポーツの推進、芸術・文化・学習活動への挑戦、ネイチャーレクリエーションの普及、福祉レクリエーションへの取り組みをレクリエーション運動の4つの柱として掲げた「21世紀ビジョン」を発表。
- ② 翌1996年、愛知県で行われた全国レクリエーション大会において、これからのレクリエーション運動の目的として「多様で多彩な遊びの機会を提供することを通じて、人生の真の楽しみ方を市民に提案する」こととした。
- ③ それらをふまえた具体的な事業展開計画として「緊急総合5か年計画」を1997年に発表。

一方、全米公園レクリエーション協会（以下、NRPAと略す）においても21世紀に向けたレクリエーション運動の目標と戦略を明確にした「Vision 2000 A Strategic Plan for NRPA's Future」を1994年10月に発表している。

もともとアメリカで発展し、1920年代に世界に広がったレクリエーション運動が、わが国におけるレクリエーション運動の始まりである。21世紀に、アメリカにおけるレクリエーション運動ビジョンが、何を目標しているのか、何を強調しているのかを理解しておくことは、今後のわが国のレクリエーション運動の目指す方向に大きな示唆を与えてくれるものと考えられる。

2. Vision 2000 が示していること

1994年10月、NRPA理事会で採択されたVision 2000は、1992年に行われた会員へのニーズ調査をベースにしながら、3年間をかけて検討された。

Vision 2000の目的は、NRPAの使命に基づいて、これまでの活動を再構築するものである。その使命とは、「すべての人のクオリティ・オブ・ライフを高めるために、公園、

レクリエーション、そして環境保全のための努力をすすめること」である。

Vision 2000 には、NRPA がめざすビジョンと戦略、そして 3 年間の具体的な実行プランが示されている。NRPA が今後行う事業は、Vision 2000 に基づいて評価されるものであり、NRPA の組織マネジメントガイドとして示されたものである。

3. NRPA がめざすもの

Vision 2000 の中で NRPA は、これからのアメリカの社会変化の中で、多様な会員との連携によって、環境、ヒューマンサービス、経済の発展を提唱すること。さらに公園とコミュニティにおけるレクリエーションサービスの個人的、社会的、経済的、環境的ベネフィットを主張する全国、州、地域のレクリエーションサービス提供機関を代替する組織を目指すとしている。

さらに市民ボランティアとレクリエーションの専門家、そして様々な社会問題に立ち向かう人々との連携・協力を目指している。このような連携・協力によって、コミュニティづくり、文化的理解、健康づくり、環境教育、犯罪防止などを促進するプログラムが提供できるとしている。そして、NRPA が描く目標に近づくための戦略をまとめている。その概要は、①加盟団体、関連領域の団体との連携を図っていくこと。②レクリエーションによってもたらされるベネフィットを強調していくこと。③公園・レクリエーションの社会的な価値を高めていくための努力をすること。

4. まとめ

Vision 2000 は、アメリカにおけるレクリエーション運動を推進する NRPA の組織マネジメントプランである。島田は「非営利組織におけるマネジメントは、一貫してミッション・ベイスド・マネジメント（ミッションの旗を高く掲げ、それによって目標・戦略・戦術・遂行・評価が効果的になり、成果を目指すことのできるマネジメント）である」³⁾と述べている。まさに Vision 2000 はミッションに基づくマネジメントプランであるといえるだろう。NRPA が掲げるミッションに基づいて、NRPA は、公園とコミュニティにおけるレクリエーションサービスの個人的、社会的、経済的、環境的ベネフィットを主張する全国、州、地域のレクリエーションサービス提供機関を代替する機関であるという目標を明確にしている。そして、NRPA がめざすビジョンと戦略で強調している「レクリエーション・ベネフィット」について、西野は「ベネフィットムーブメントは、レジャー・レクリエーション・公園は、大いなるベネフィット（利益）を、個人にも、コミュニティにも、そして社会にももたらしていることを関係者自身、再認識するとともに、そのことを世の中に真剣にアピールしようとする運動である」⁴⁾と述べている。

わが国においても、レクリエーションの価値をさらに高め、レクリエーションを多くの人に理解してもらうことを目指すのであれば、関連団体、専門家とともに、日本におけるレクリエーション・ベネフィットの開発が望まれる。

引用文献：1) (財)日本レクリエーション協会：緊急総合 5 年計画 1997

2) 3) 島田恒：非営利組織のマネジメント 東洋経済新報社 1999

4) 西野仁：月刊 R e c 12/1 合併号 1999・2000